



熱田区社会福祉協議会
オリジナルキャラクター
アツツとタツク

データで見る

熱田区の高齢者の特徴



～データ分析に基づく介護予防地域診断～

名古屋市では、「健康とくらしの調査（JAGES2019）」（※）に参加し、市内の高齢者を対象とした介護予防に関するアンケート調査を実施しました。

熱田区では、今後の取り組みの参考にするために、「健康とくらしの調査」の結果を分析し、熱田区にお住まいの高齢者の皆様の特徴をまとめました。

※健康とくらしの調査（JAGES2019）

調査対象者：市内在住の要介護（要支援）認定を受けていない高齢者
（令和元年 10 月 26 日時点で 65 歳以上の人）

対象者数：25,000人（うち熱田区747人） 回収率：18,578票 74.3%（うち熱田区551票 73.8%）

調査方法：郵送による

調査期間：令和元年 11 月 25 日～令和元年 12 月 16 日

フレイル（年をとって、体と心のはたらきや社会的なつながりが弱くなった状態）

順位は 16 区中の順位（状況が良いほど順位が高い）／赤字は 9 位以下（状況が悪い）

主な項目	全 体	女 性	男 性	前期高齢者 (65～74歳)	後期高齢者 (75歳以上)
要支援・要介護リスクの低さ	1 位	5 位	1 位	8 位	3 位
1 年間に転倒しない者の割合	1 位	1 位	3 位	1 位	4 位
30分以上歩く者の割合	1 位	1 位	10 位	5 位	1 位
フレイルがない者の割合	4 位	7 位	4 位	5 位	7 位
低栄養者割合の低さ	9 位	5 位	11 位	12 位	7 位

フレイルの まとめ

- 30 分以上歩く人が多く、転倒する人は少ないです。
- 要支援や要介護になるリスクや、フレイルありの割合は低くなっています。
- 男性や前期高齢者で、低栄養の人の割合が多くなっています。

社会参加

順位は16区中の順位（状況が良いほど順位が高い）／赤字は9位以下（状況が悪い）

主な項目	全 体	女 性	男 性	前期高齢者 (65～74歳)	後期高齢者 (75歳以上)
通いの場への参加者割合	1 位	1 位	8 位	3 位	1 位
特技や経験を 他者に伝える活動参加者割合	3 位	1 位	9 位	6 位	3 位
収入のある仕事への参加者割合	3 位	3 位	7 位	5 位	9 位
町内会・自治会参加者割合	4 位	3 位	10 位	9 位	4 位
ボランティア参加者割合	5 位	7 位	5 位	9 位	4 位
閉じこもり者割合の低さ	6 位	3 位	11 位	14 位	3 位
グループ活動へ 参加意向がある者の割合	7 位	2 位	11 位	12 位	2 位
友人知人と会う 頻度が高い者の割合	13 位	8 位	16 位	15 位	5 位

社会参加の まとめ

- 全体では、多くの人が社会参加に積極的であると考えられます。
- 一方で、性別・年代別では、男性と前期高齢者が、仕事以外の社会参加に積極的ではない傾向にあると考えられます。



認知症への理解

順位は16区中の順位（状況が良いほど順位が高い）／赤字は9位以下（状況が悪い）

主な項目	全 体	女 性	男 性	前期高齢者 (65～74歳)	後期高齢者 (75歳以上)
認知症の人も地域活動に 参加した方が良くと思う人の割合	10 位	13 位	6 位	13 位	6 位
認知症になっても 自宅で生活したい人の割合	13 位	12 位	13 位	15 位	6 位
家族が認知症になったら近所の人に 知ってほしいと思う人の割合	15 位	9 位	13 位	14 位	2 位

認知症への 理解の まとめ

- 熱田区全体で、認知症に対する理解が進んでいないと考えられます。
- 年代別では、前期高齢者において特に理解が進んでいません。
- 周囲のサポートや安心できる環境、適切な治療があれば、認知症の人が自分らしい生活を長く続けることができます。
- より多くの市民の皆さんが、認知症についての正しい知識を身につけ、理解を深めることが必要です。



認知症になっても安心して暮らせるまち絵画作品募集

熱田区では、令和3年9月に区内の小学生を対象として絵画作品を募集し、106名の方から素敵な作品を応募していただきました。熱田図書館においてすべての作品を展示し、あわせて認知症関連の本を紹介しました。



熱田区の認知症施策について、詳しくはこちらをご覧ください。

熱田区 認知症専門部会の取り組み

検索

口腔ケア（お口の健康）

順位は 16 区中の順位（状況が良いほど順位が高い）／赤字は 9 位以下（状況が悪い）

主な項目	全 体	女 性	男 性	前期高齢者 (65～74歳)	後期高齢者 (75歳以上)
残歯数が多い者の割合	10 位	9 位	12 位	9 位	16 位

口腔ケアの まとめ

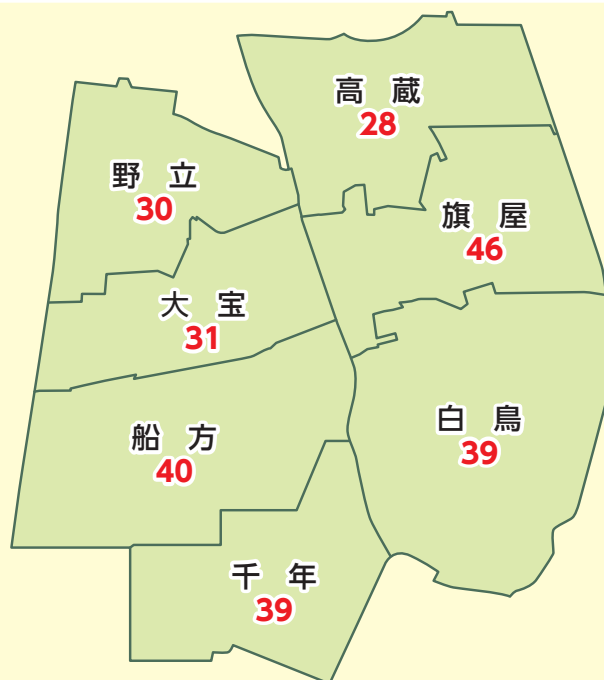
- 残っている歯が少なく、よくかむことができないと、認知症の発症や転倒するリスクが高くなるといわれています。
- より多くの歯を残すため、熱田区全体で、日ごろから歯周病予防やむし歯予防などの口腔ケアに取り組む必要があります。

学区別の状況

すべての項目（※ 65 項目）のうち、市中央値を上回る項目（成績が良い項目）の数は以下のとおり。

※ 65 項目の内訳

社会参加関連	： 18 項目
フレイル関連	： 13 項目
孤立・孤独関連	： 9 項目
認知症関連	： 7 項目
気分・幸福感関連	： 6 項目
口腔ケア関連	： 2 項目
その他	： 10 項目



学区別状況の まとめ

- 区の北部よりも南部において、市中央値を上回る項目が多くなっています。
- 区の北部において特に、介護予防に向けた取り組みが必要です。



熱田区の地域包括ケアシステムについて、詳しくはこちらをご覧ください。

熱田区の地域包括ケアシステム

検索